

令和6年6月25日

若手研究者海外挑戦プログラム採用終了者 各位

日本学術振興会
人材育成事業部 人材育成企画課

若手研究者海外挑戦プログラム就職状況調査について（依頼）

独立行政法人日本学術振興会（以下、「本会」という。）は、博士後期課程の学生等が海外という新たな環境へ挑戦し、3か月～1年海外の研究者と共同して研究に従事できるよう滞在費等を支給し、将来国際的な活躍が期待できる豊かな経験を持ち合わせた優秀な博士後期課程学生等の育成に寄与するプログラムを実施しています。

そこで、本事業の目的が達成されているのかを検証・判断するために、本事業採用終了直後、1年後、5年後の方々に対し、就職状況等に関する調査を依頼させていただきます。

【対象者】

採用終了直後：令和4年度採用者

採用終了から1年後：令和3年度採用者

採用終了から5年後：平成29年度採用者

なお、本調査の実施にあたっては、Transbird株式会社に委託しており、同社から調査の詳細を連絡させていただきます。調査対象者の方におかれましては、調査項目等を確認のうえ、回答をお願いいたします。**【調査開始日：令和6年6月25日（火）】**

また、調査結果については、統計的に集計・分析され、統計データとして公表されることがありますが、個々人の情報が公開されることはありません。

※調査票、回答期限、回答方法等の詳細について、Transbird株式会社から連絡いたします。

【参考：若手研究者海外挑戦プログラム遵守事項及び諸手続の手引（令和6年1月）（抜粋）】

3. 就職状況等調査

- ・本会から調査の依頼があった場合は、就職状況等調査にご協力ください。これは、国費によって若手研究者を支援する本プログラムが、研究者の養成において有効に機能し、我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者が、養成・確保されているかを判断する客観的指標として、統計的に集計されます。個々人の情報を公開することは一切ありません。
- ・採用終了後の状況について、定期的（1年、5年、10年経過後を予定。）に本調査を依頼することがあります。